

元気がわら版

庄原市社協だより3月号【Vol.107】

「地域の支えあいづくりを 考える集い」開催!!

少子高齢化と人口減少が急速に進み、様々な地域課題が生じている中、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、地域における支えあいの仕組みづくりが必要です。この集いは、地域課題解決に向けた取り組みのきっかけとして、広く住民意識を高めていくことを目的としています。

先月号に引き続き、西城地域と高野地域の取り組みを紹介します。

西城地域 2月8日(土)



「職場体験 と将来」

庄原市立西城中学校2年
見越 万葉さん



「快適かつ安全にすこせる町、 西城について」

広島県立西城紫水高等学校3年
西本 侑祐さん



「西城町の子どもとして 思うこと」

広島県立西城紫水高等学校3年
林 隆盛さん

高野地域 2月23日(日)

高野地域の支えあいづくりを考える集い



目次

- P1・・・西城・高野地域の支えあいづくりを考える集い
- P2・・・西城地域の支えあいづくりを考える集い
- P3・・・高野地域の支えあいづくりを考える集い
- P4・・・庄原市ボランティアセンター開所
- P5・・・生きがい創造型サロン
- P6・・・元気報告 庄原・西城・東城・口和
- P7・・・元気報告 高野・比和・総領・里山くらしの工楽知(東城)
- P8・・・よろず相談・協力寄付・義援金
- P9・・・寄付金
- P10・・・地域のものがたり(総領)・広告

西城会場 〔二月八日(土) 西城保健福祉総合センターしあわせ館〕

「高齢者支援

実は・・・私たちが

助けてもらっていることだった!?

「好きを生かしたら

楽しみが増えた!」



西城自治振興区
地域マネージャー
神本 久美氏



西城自治振興区
地域マネージャー
上西みどり氏

西城自治振興区のやすらぎプロジェクトでは、高齢者への聞き取り調査を実施し、これに基づき生きがい支援・生活支援からさりげない見守りを行っている。また、今ある機能をできるだけながく持続してもらおうことにつながっている。活動を通して支援する側・される側ではなく、お互いが幸せと感じる関係を築いていきたい。

「高齢者が安心して

暮らせる地域づくり」



八銚自治振興区
事務局長
柳生 光明氏

八銚自治振興区では、地域の中にある集いの場を生かし、ひとつの支え合いの手法として、無理なく互いが見守り、困り事や心配事が言え、支えあう共助の体制づくりを進めている。自治会ごとに話し合いの場を持ち、関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたい。

「拡大地域ケア会議の 取り組みについて」



西城地域
包括支援センター
専門員
保村 深雪氏

地域包括ケアシステムの構築が求められる中、西城地域包括支

援センターでは、拡大地域ケア会議に取り組んでいる。この会議では、各関係機関が取り組んでいる事について報告し、地域課題について話し合う。それぞれが連携し、情報の共有や機能・役割の分担など整理し、知恵を出し合いながら、仕組みづくりを進めたい。

西城里山倶楽部 劇団しあわせ家族

地域づくりと地域福祉の姿をテーマにした笑いあり涙ありの演劇から、これからの西城の姿を考えました。



西城保健福祉総合センター
所長
郷力 和明氏
(西城市民病院院長)

学生の発表からは西城をいかに愛しているかが伝わった。二〇二五年には病院や施設で看取るだけのベッド数が足りなくなり、必然的に自宅で看取ることとなる。若者が帰って来たいと思う古里を残してやらなければならぬ。そのためには、いろいろな組織が問題を共有し、皆で考え知恵を絞っていかねばならない。課題を先送りにするのではなく、考えるのは「今でしょう」

西城病院としては、退院後の自宅は病室、道路は大きな廊下だと思えば診に伺っている。急性期は病院で、良くなったら自宅で、訪問看護なども利用しながら、元気で長生きし西城に住んで良かったと思える一生にしていきたいと思います。

高野会場 二月二十三日(日) 高野福祉保健センター

パネルディスカッション

「地域課題を踏まえてのこれからの取組み」

「地域の現状・関係機関との連携の必要性」



高野地区民生委員
児童委員協議会
会長
草谷 末廣氏

活動を通じ高齢者が生活の中で抱える不安要因として、自分の健康、移動手段、冬場の除雪等がある。

各自治会に設置されている除雪機をうまく活用できる仕組み等を自治会の地域力として考えていただきたい。

また、高齢者の多くはこどもに迷惑をかけたくないとの気持ちを持つ人が多いが、地域で支え合いを考えると、高齢者自身も隣近所へ一言声を掛ける「くせ」をつけることも必要である。

活動から見える課題に対し、益々小地域においてサロン等の集まりの必要性を感じる。

「組織体制づくりに向けて」



下高自治振興区
区長
山野邊 和信氏

社会状況の変化と共に、地域で昔とは違い、農機具の性能向上や普及等により、地域での共同作業がなくなつた。また、高齢で地域付き合いもままならなくなつたことで、自ら地域の行事等から身を引く状況にある。

高齢になつて、ここはできなくなつたが、自分はこれならでき、この部分で誰かの手伝いができなにかと思う気持ちを持つことが大事である。

当自治振興区の中には、福祉部的な組織ができていない事も踏まえ、振興区内の体制作りや自助、互助を支えるような振興区の枠を越えた組織づくり・連携に取り組む。

「関係機関との連携」



庄原警察署高野駐在所
警部補
財原 正樹氏

4月に高野に赴任し、都市部と違い「町内全てが顔見知り」で、情報が大きい」という状況にある高野町の地域力の高さを感じた。

しかしながら、この地域力がいつまで維持されるかという部分には不安もある。

各関係機関も住民のことをよく把握されているが、情報が共有されていないと感じる。

住みやすい町であるために、関係機関の情報共有の重要性、連携、仕組みづくりの必要性を感じる。



コーディネーター役
上高自治振興区
区長
井上 清憲氏

「認知症高齢者等 安心システムについて」



高野地域
包括支援センター
専門員
兼森 美幸氏

「最後までわかたで暮らしたい」これは多くの皆さんの願いだと思えます。でも、現実的に家で最後まで暮らすと思う人は少ないのが現状です。

では、願いと現実との間にある不安や心配は何でしょう。どのような仕組みがあればその不安がなくなるのでしょうか。その不安がなくなる仕組みが、「地域包括ケアシステム」です。

高野町でも関係者が集まって会議を開き、地域で支え合い安心して暮らせる仕組みづくりを考えています。

その中で、今年度は認知症高齢者が行方不明になつた時、スムーズに関係機関が連絡をとり捜索するシステム「高野町高齢者等安心システム」を作りました。

来年度もより多くの、「最後までわかたで暮らしたい」を支える仕組みを作っていきます。

庄原市ボランティアセンターを開所します

庄原市社協では、これまでもボランティアに関する相談を受け付け、調整などを行ってきました。また、平成22年7月の庄原豪雨災害時には災害ボランティアセンターを立ち上げ、災害時のボランティア活動を支援してきました。

この度、庄原市ボランティアセンターを立ち上げることによって、ボランティア活動の支援機能を強化し、市民の皆さんの日頃からのボランティア活動を応援します!!

ちょっと手伝って!

『外出したいけど介助者がいなくて・・・』
『ゴミの分別がわかりにくいなあ』
『一緒に活動してくれる人はいないかな?』
『何日も掃除したらんのお』

私にも出来ること!!

- ボランティア活動をしたい
- ボランティア活動について勉強したい
- 仲間・友達がほしい
- 技術・経歴を活かしたい



① 相談・受付

- ボランティア活動を始めたい人の相談・登録
- ボランティアを必要とする人からの相談・受付



② 紹介・調整

- ボランティアの紹介・調整
- ボランティアの活動の場の紹介・調整



③ 交流・ネットワーク

- 活動者の交流
- 学校や企業、各団体との連携



④ 情報収集・把握

- ボランティアに関する情報の把握・整理



⑤ 養成・育成

- 研修会やボランティア講座の開催



⑥ 情報発信

- 広報紙やホームページへの掲載
- 学校や地域、企業への出前講座



⑦ ボランティア保険

- 活動中の事故やケガに備えて、ボランティア保険の紹介・加入手続き



⑧ 災害支援

- 災害ボランティア活動
- 災害に備えた体制づくり



⑨ 運営委員会

- センターの運営に関することを協議 (企画・PR・見直しなど)



困ったときは
おたがいさま!!

ボランティアセンターは『喜びと生きがいを感じて暮らせる地域づくり』に、皆さんと一緒に取り組みます!!

庄原市ボランティアセンター 各地域センターにも窓口があります。

〒727-0013 庄原市西本町4丁目5-26 庄原市ふれあいセンター内

TEL:0824-72-7120

男性×社会貢献×経済活動=生きがいづくり

「どの創造型がお好みですか??？」

昨年に引き続き、市の委託事業として「生きがい創造型サロン」を進めています。

この事業は、特に閉じこもりがちになる男性の「生きがいづくり」を目的として、今まで仕事などで培ってきた男性ならではの「経験」や「技術」を生かしながら「社会貢献」と「経済活動」の両立をめざす事業です。

ゆとろサロン(宮内町)

ゆとろサロンは、みんなで作った『宮内弥生の郷音頭(故郷のメロディ)』が始まりの合図。参加者で元気に斉唱しスタートします。夏祭りやしめ縄づくり体験、そば打ちなど男性陣が中心となり、地域の老若男女と一緒に活動しています。ここが地域交流を深めるみんなの拠り所になるよう、偶数月の第2土曜日に集会所で開催しています。

2月は、美湯ハイツの“おつみ会”と合同サロンを行い、自治会を越えた交流ができました。「来年度は、しめ縄や農作物をみんなで作って販売しようや。少しでも売れたら、みんなでプチ食事会したいのぉ」と、自分たちで楽しみを創り、つながりの輪が広がっています。



たごさく(口和町)

口和町地域ケアセンターを拠点として仲間同士協力し、個々の得意分野を生かしながら活動しています。町内の集会所、市内のイベントなどで喫茶や手作りこんにゃくの販売、包丁とぎを行います。

色々な場所に出掛けていき、地域の方との交流や、自分達の活躍する場をもつことで新たな仲間づくりや生き甲斐づくりを行っています。



その他、昨年度から起ち上がっている8カ所を合わせ、市内には10カ所の創造型サロンで活躍されている方々がいます。

【創造型サロン】

ゆうわ会(山内町)
とつたすくらぶ(市町)
サロン七塚駅花いっぱい(七塚町)
手仕事工房(東城町)
再彩会(東城町)
おやしサロン(高野町)
意志会(比和町)
ひょうたん茶屋(総領町)

【活動内容】

地域行事のお手伝いや環境整備
環境整備や将来的には村おこし
駅の環境整備と花訪問活動
木工品加工、手芸、野菜づくり
食品加工など
農業収穫体験
家屋の小修理や包丁とぎ
コーヒー喫茶、小修理、包丁とぎ

みなさんも自分たちの地域に合った「生きがいづくり」を始めてみませんか？
詳しくは各地域センターにお気軽にお尋ねください！

庄原地域センター

0824-72-7120

「感謝の気持ちをこめて」～川北小学校より～

昨年11月3日(日)、北地区ふるさと祭りが開催され、川北小学校は“かわきたショップ”を出店し、各学級で工夫して作った手作りの品物や全校で作った餅や干し柿などを販売しました。

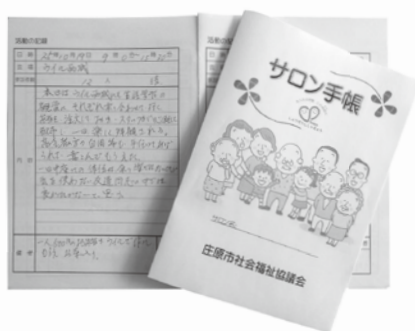
児童は、「いらっしゃいませ」「何がいいですか？」など笑顔で声をかけたり、自分たちで作った品物のアピールを行い、販売を通じて地域の皆様と交流しました。最初は、声が小さかった児童たちですが、一つ品物が売れるごとに大きな声になり、最後には売り歩くほどになりました。お陰様で、完売することができ、この売上の一部を社会福祉協議会へ寄付させていただきました。保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。(学校長 平岡泰俊)

みなさまの心のこもった寄付を地域の福祉活動へ大切に活用させていただきます。



西城地域センター

0824-82-2953



地域のよりどころに

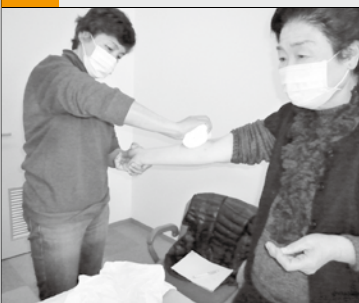
「歳を重ねると出かけることや、顔を合わせて話をする機会が少なくなってきました。できるだけ閉じこもらずに、みんなと楽しく過ごせる場所をつくれたらと思っています」以前に伺ったそんな思いが形になり、今年度ひとつのサロンが立ち上がりました。

世話人さんは、「始めたばかりでまだ勉強中ですが」と活動の様子を話してくださいました。男性陣の運転でみんなとイベントに参加したり、在宅介護をされている方がその経験を参加者に助言されたりと、様々な話ができる場となっているようです。顔を合わせ話すことで、“心開けるよりどころ”に近づいているように感じました。勉強中と話をされる世話人さんの力になるよう支援していきたいと思ひます。

うに感じました。勉強中と話をされる世話人さんの力になるよう支援していきたいと思ひます。

東城地域センター

08477-2-0488



目から鱗&なんと気持ちがいい

家族介護と男性介護教室の参加者が日本赤十字社の短期講習(安全と清潔)を受講しました。普段何気なく使っている車いすですが、前輪の向きや段差の越え方など、機能について丁寧に教えていただきました。また、ホットタオルの作り方、清拭の仕方など「これからの介護にとっても役立つ」と、充実感いっぱいの時間でした。講習の最後は、肩から背中を優しくなでる動作のリラクゼーションを教わりました。とっても気持ちよくホッとした気分になられたようで、コミュニケーションにとっても良いと思ひました。



口和地域センター

0824-89-2320



高齢者の身体機能を疑似体験

口南小学校6年生を対象に、認知症サポーター養成研修と高齢者疑似体験、車椅子体験を行いました。高齢者疑似体験では、特殊眼鏡、手足の重りなどを装着し、廊下や段差などを歩き、加齢による身体的な変化(視力、筋力の低下)を知り、高齢者の気持ちや介護方法、高齢者とのコミュニケーションの取り方を体験的に学びました。

生徒からは「身体に重りをつけた時、関節も曲がらず、ちょっとした段差も歩きづらかったです」「わたしたちが毎日当たり前のように出来ていることが、お年寄りにとっては、とっても大変なことだとわかりました。これからは、おじいさんおばあさんにもっと優しくしてあげたいと思ひます」といった感想が聞かれ、自らが体験することによって新たな気づきや想いが得られたようです。



高野地域センター

0824-86-3044

2,3回でもしてもらえんのんかいのお?

生きていく上で、大事な“食”。調理の機会の少ない男性高齢者を対象に、食に関する知識の習得、調理の機会や情報提供の場として“高齢者料理教室”を実施しました。

今回は、短時間でバランス良く栄養がとれる、“3食丼・八宝汁・スティックサラダ・洋風ほとぎ”づくりに挑戦。

参加者は60代後半から70代が多く、皆さん手際良く調理されました。「白菜を生で食べる事がないが、やわらかくて美味しい」「醤油・みりん・砂糖とかになったら難しく感じるが、市販のタレを使うことで美味しくして簡単にできる」「毎年1回じゃなく、数回してもらえんのんかいのお」と笑い声いっぱいの中、あっという間に完成。「楽しく・美味しく」を基本にした調理実習は勿論ですが、出かけたり人としゃべることが少ない男性の“集まる場”づくりの役割も持つと考え、社会福祉協議会では各地域において引き続き開催していきます。



比和地域センター

0824-85-2300

ココロもカラダも笑顔で前向きに!!

先月号で掲載した口和地域の「笑いヨガ」の講師を紹介していただき、「サロン世話人交流会」を開催しました。比和の世話人さん達は活動的な方ばかり。今回も21名の参加があり、みなさんと笑ってリフレッシュしました。近頃、町内のサロンから「高齢者ばかりなので運営がしんどくなってきた」という声を聞く機会も多くなってきたように思います。

しかし「せっかくあるんじゃし、続ける事に意味があるよね」「出る所が1つでもあるって良い事よ」「堂々と家を出られる大義名分になるよね(笑)」と最後にはみなさんの前向きな姿勢を感じる事ができます。

そんな気持ちに添えて、一緒に支えて行きたいと思っておりますので、ちょっとでもまずきそうになったらいつでも相談してくださいね。



総領地域センター

0824-88-2796

個性あふれるひな人形

桃の節句が近づいてきた2月17日、世代間交流で“ひな人形”を作りました。

おばあちゃん達は、子ども達に寄り添って優しく指導し、針に糸を通すことに四苦八苦するおばあちゃんには「僕がしてあげる!」と子ども達。おたがいに協力しながら、楽しく人形作りができました。「僕は妹にあげる」「お母さんの誕生日が3月なんよ」と、男の子達は大好きな人にプレゼントするようで、それぞれに個性豊かな、かわいいひな人形が完成しました。「今度、サロンで作ってみようか」という言葉も聞かれ、参加いただいた皆さんが、地域で集まるきっかけとなり、手と頭と口をしっかりと動かしていただける場になると嬉しいです。



里山の工楽知コーナー

帝釈は東城町の西北に位置し、風光明媚な国定公園帝釈峡など多彩な観光資源があり、年間を通して多くの観光客が訪れています。また、野山には人々の暮らしを潤す産物もたくさんあります。竹渡地区の若竹サロン(小地域男性サロン)では住民の業と技、先人の知恵、野山の恵み、そして観光を活かした話し合いがされています。そのテーブルには野山の恵みを使ったアイデア料理が数々並び、花を添えていました。



よろず相談のご案内

社協の相談活動は、24時間365日受け付けています。相談は無料です。また、定例相談日も設けています。なお、夜間～早朝（緊急時等）には、専用電話080-5239-4085にお掛けください。担当者に連絡を取ります。



『平成26年度 よろず相談365』

○よろず相談 (8:30～17:30)

庄原地域センター：0824-72-7120
 西城地域センター：0824-82-2953
 東城地域センター：08477-2-0488
 □和地域センター：0824-89-2320
 高野地域センター：0824-86-3044
 比和地域センター：0824-85-2300
 総領地域センター：0824-88-2796

○一般相談 (13:30～15:30)

毎週水曜日 庄原地域センター
 第1・第3木曜日 西城地域センター
 東城地域センター
 比和地域センター
 第2・第4木曜日 □和地域センター
 第1・第3水曜日 高野地域センター
 第2・第4水曜日 総領地域センター
 (9:00～11:00)

○法律相談 ※予約制で一人の相談時間が30分以内です。相談時間は13:00～16:00です。

日程	会場	日程	会場
4月4日(金)	庄原市ふれあいセンター	9月19日(金)	庄原市ふれあいセンター
4月18日(金)	庄原市ふれあいセンター	10月3日(金)	庄原市ふれあいセンター
5月2日(金)	庄原市ふれあいセンター	10月17日(金)	庄原市ふれあいセンター
5月8日(木)	東城ふれあいセンター	11月7日(金)	庄原市ふれあいセンター
5月16日(金)	庄原市ふれあいセンター	11月13日(木)	東城ふれあいセンター
6月6日(金)	庄原市ふれあいセンター	11月21日(金)	庄原市ふれあいセンター
6月20日(金)	庄原市ふれあいセンター	12月5日(金)	庄原市ふれあいセンター
7月4日(金)	庄原市ふれあいセンター	12月19日(金)	庄原市ふれあいセンター
7月10日(木)	西城しあわせ館	1月9日(金)	庄原市ふれあいセンター
7月18日(金)	庄原市ふれあいセンター	1月23日(金)	庄原市ふれあいセンター
8月1日(金)	庄原市ふれあいセンター	2月6日(金)	庄原市ふれあいセンター
8月14日(木)	東城ふれあいセンター	2月20日(金)	庄原市ふれあいセンター
8月22日(金)	庄原市ふれあいセンター	3月6日(金)	庄原市ふれあいセンター
9月5日(金)	庄原市ふれあいセンター	3月20日(金)	庄原市ふれあいセンター
9月11日(木)	高野福祉保健センター		

○多重債務相談 ※予約制で一人の相談時間が45分以内です。

●日時：毎月第2木曜日 13:00～16:00 ●場所：庄原市ふれあいセンター（但し、7月10日は、東城ふれあいセンター）

○生活福祉資金等

○かけはし（福祉サービス利用援助事業）

金銭管理や各種手続きでお困りの方の相談に応じます。その他の相談にも応じています。お近くの地域センターにお問い合わせください。

市民レポート

地域のものがたり



地域の方との「縁」は「財産」

●レポーター：総領町稲草在住
谷口 浩二さん

2002年から総領町の住宅に入居し、12年が経ちます。

私たち夫婦の実家は旧庄原市にあり、当時は知り合いもほとんどいませんでした。

現在、自治会の役員など色々な活動をさせていただくようになり、地域の皆さんと接する機会が増え、多くの方と知り合うことが出来ています。

また、総領響心太鼓(和太鼓)に入り、なかなか上達せず未だにミスも多々ありますが、楽しくやっています。

色々な活動をしていく中で、楽しいばかりではなく大変だと思えることもあります。地域の皆さんが協力し、良くしてくださるお陰で活動を続けられています。

今後も地域では「地域主体」のまちづくりに向けた事業が進められていきます。地域の一人として何が出来るか考え、少しでも地域貢献ができればと思っています。

総領町に居住し、縁あって地域の皆さんと知り合えたことは、私たちにとって財産です。これからもよろしくお願ひします。



広告

**一人で悩まないで
まず相談してください。**

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士 検索

司法書士 飯田 一生
(広島司法書士会所属)

広島北部司法事務所 (訴訟代理権認定第524014号)(司法書士登録番号828号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 バルナッシュB2階 TEL0824-72-2315 (要予約)

学生の皆さんへ

専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか。ご希望の方は、庄原市社会福祉協議会へご連絡ください。